

麦類及び水稻の6月上旬の巡回調査結果の概要について

麦 類

【東北信】調査日 6月6日<調査地点 小麦8地点>

- 1 調査時の小麦の生育は、主に登熟期であった。
- 2 コムギ赤さび病は、上田管内の2地点、長野管内の1地点で発生がみられたが、発病度は平年と比べ低かった。
- 3 コムギ黄さび病は、巡回調査地点での発生はみられなかった。
- 4 コムギうどんこ病は、長野管内の1地点で発生がみられたが、発病度は平年と比べ低かった（写真1）。
- 5 コムギ赤かび病は、巡回調査地点における100穂調査では発病穂はみられなかった。ただし、巡回調査地点以外のほ場で発病穂がみられた（写真2）。



写真1 コムギうどんこ病（長野管内）



写真2 コムギ赤かび病（長野管内）

【中南信】調査日 6月5日、9日<調査地点 小麦10地点>

- 1 調査時の小麦の生育は、主に登熟期であった。
- 2 コムギ赤さび病は、上伊那管内の2地点でみられたが、発病度は平年と比べ低かった。
- 3 コムギ黄さび病及びコムギうどんこ病の発生は、巡回調査地点ではみられなかった。
- 4 コムギ赤かび病は、調査ほ場における100穂調査では発病穂はみられなかった。
一方、畦畔見歩きによる達観調査では、上伊那管内の巡回調査地点で発病穂がみられた（写真3）。



写真3 コムギ赤かび病（上伊那管内）

水 稲

【東北信】 調査日 6月2日、3日

＜東北信地域の巡回調査ほ場：東信 15 ほ場、北信 14 ほ場、計 29 ほ場＞

1 イネミズゾウムシ

- (1) 成虫の確認頭数は、東信地域は平年並、北信地域は平年と比べ低かった。
- (2) 成虫の被害度（成虫による食害）は、東信地域、北信地域ともに平年と比べ低かった。
- (3) 発生地点数は、東信地域、北信地域ともに平年並であった。

2 イネドロオイムシ（イネクビホソハムシ）

巡回調査地点では、小海町の1ほ場で成虫の発生がみられた（写真4）。



写真4 イネドロオイムシ成虫（小海町）

【中南信】 調査日 6月2日、3日、4日、5日

＜中南信地域の巡回調査ほ場：南信 15 ほ場、中信 18 ほ場、計 33 ほ場＞

1 イネミズゾウムシ

- (1) 成虫の確認頭数は、中信地域の1ほ場を除き全般に少なく、平年と比べ少なかった。
- (2) 被害度（成虫による食害）は、中信地域、南信地域ともに平年と比べ低かった。
- (3) 成虫の確認地点率は、中信地域、南信地域ともに平年と比べ低かった。

2 イネドロオイムシ（イネクビホソハムシ）

巡回調査では、食害及び成虫、幼虫、卵塊はカウントされなかったが、塩尻市の調査ほ場内で成虫、卵塊が確認された（写真5、6）。



写真5 イネドロオイムシ（イネクビホソハムシ）成虫（塩尻市）



写真6 イネドロオイムシ（イネクビホソハムシ）卵塊（塩尻市）